

## 8 月 25 日 ペルー中部の地震

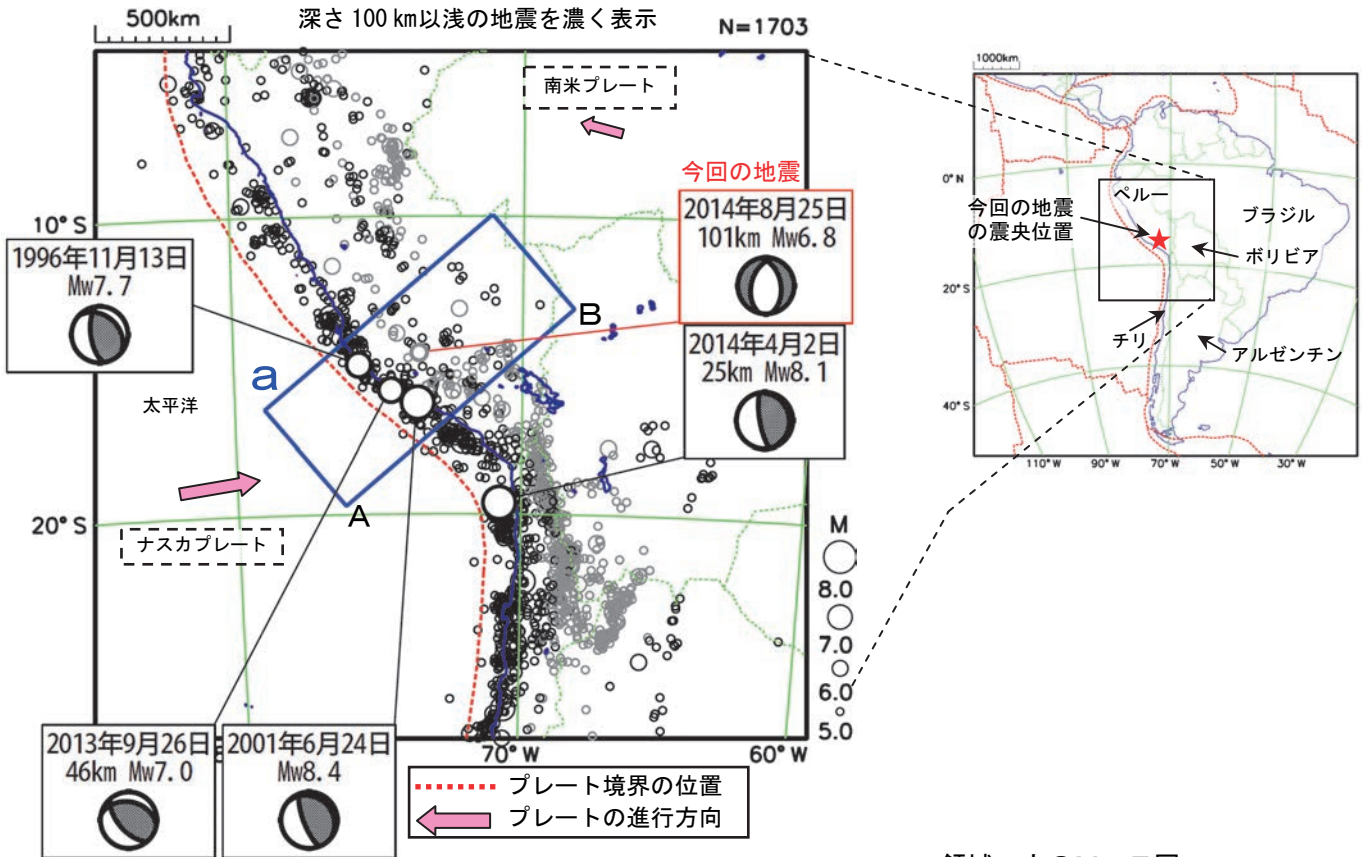
2014 年 8 月 25 日 08 時 21 分（日本時間、以下同じ）にペルー中部の深さ 101km で Mw6.8 の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁による CMT 解）が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、沈み込むナスカプレートの内部で発生した。

気象庁は、この地震について同日 08 時 53 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

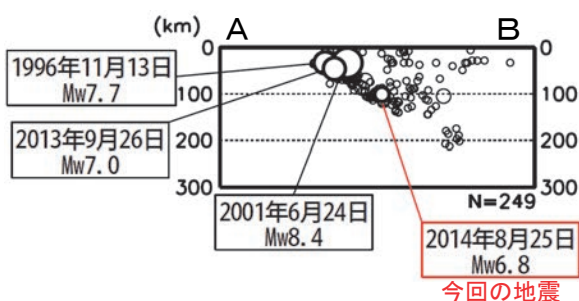
1980 年 1 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2001 年 6 月 24 日に Mw8.4 の地震が発生し、死者 139 人、負傷者 2,787 人などの被害を生じた（宇津及び国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による）。また、この地震により、太平洋の広い範囲で津波が観測され、日本国内でも根室市花咲で 28cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。

震央分布図

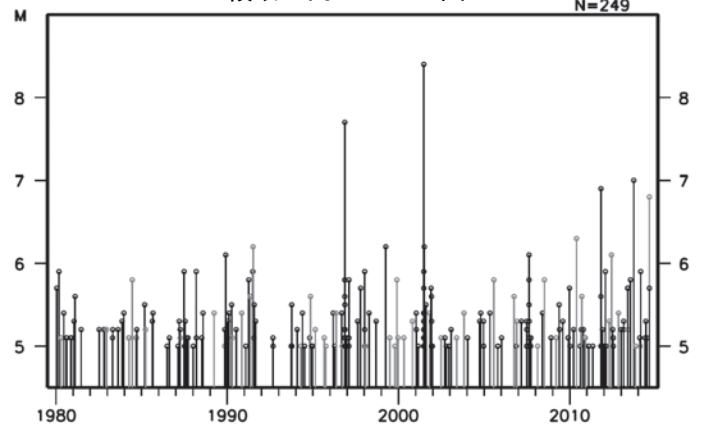
（1980 年 1 月 1 日～2014 年 8 月 31 日、深さ 0～300km、M≥5.0）



領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震、2013 年 9 月 26 日の地震、2014 年 4 月 2 日の地震の発震機構（CMT 解）と Mw は気象庁による。1996 年 11 月 13 日の地震と 2001 年 6 月 24 日の地震の発震機構（CMT 解）と Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素及び被害は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) \*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.